

令和8年度

徳島県学カステップアップテストを
活用した学習指導について（国語）



令和8年度（4月）徳島県学カステップアップテスト結果（中学校国語）

平均正答率・領域別正答率（％）

全体	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
40. 7 (18. 9)	53. 2 (7. 9)	36. 5 (20. 6)	42. 7 (18. 0)	31. 0 (29. 2)

（ ）は無解答率

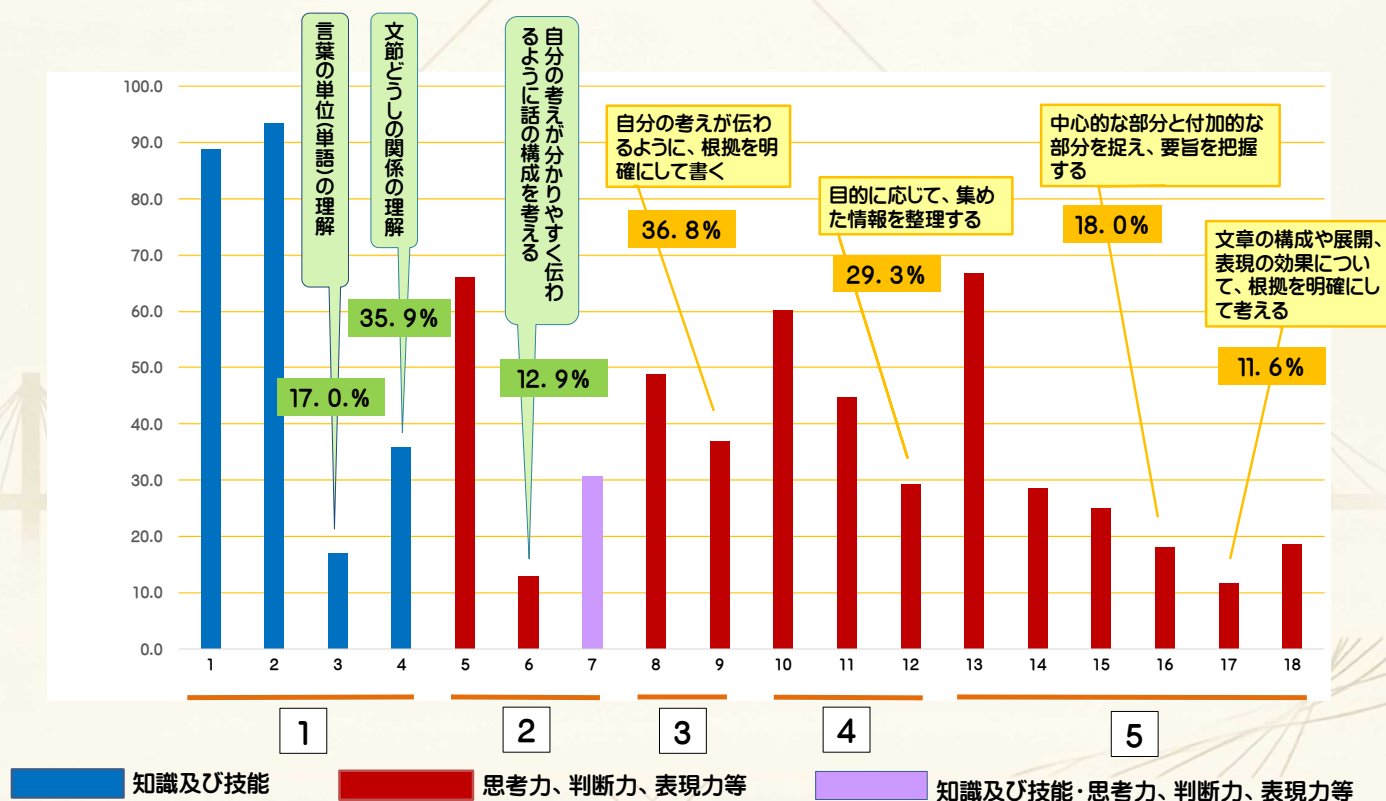
参考 令和7年度平均正答率・領域別正答率（％）

全体	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
40. 7 (6. 5)	44. 9 (3. 9)	45. 4 (3. 6)	48. 5 (10. 9)	31. 6 (9. 1)

（ ）は無解答率

令和8年度 ステップアップテスト(設問別正答率)

記述式問題・短答式問題



大問1:「知識及び技能」

【出題の趣旨】

- ・漢字を文の中で正しく使うことができるかどうか(小問1)
- ・接続する語句の役割について理解しているかどうか(小問2)
- ・言葉の単位(単語)について理解しているかどうか(小問3)
- ・文節どうしの関係について理解しているかどうか(小問4)

大問1

成果

接続する語句
の役割
93.4 %正答率

漢字の正しい使用
88.8 %正答率

課題

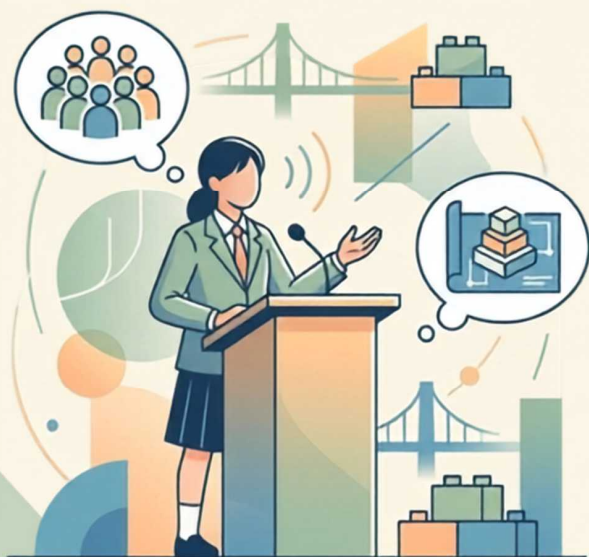
文の構造

言葉の単位（単語）の理解
17.0%

文節どうしの関係の理解
35.9%

NotebookLM

大問2：「話すこと・聞くこと」スピーチの工夫と構成



【出題の趣旨】

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することができるかどうか（小問1）
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように話の構成を考
えることができるかどうか（小問2）
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し
て話すことができるかどうか（小問3）

NotebookLM

大問2

成果

表現の工夫

正答率 **66.1 %**

スピーチの冒頭で、
聞き手を引きつけるために、
呼びかけたり問いかけたりする工夫

課題

構成の再考

正答率 **12.9%**



表現を工夫する意図

正答率 **30.6%**

大問3：「書くこと」レポートの作成



【出題の趣旨】

- ・目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうか（小問1）
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうか（小問2）

大問 3

成果

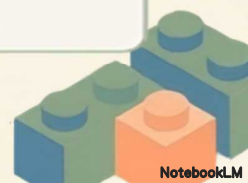
必要な情報に着目して、要約する力

正答率

48.7 %

課題

自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く力



NotebookLM

大問 4 : 「書くこと」案内文の情報の整理



【出題の趣旨】

- ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうか(小問1)
- ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうか(小問2)
- ・目的に応じて、集めた材料を整理することができるかどうか(小問3)

NotebookLM

大問4

成果

課題

表記の確認

正答率

60.2 %



集めた情報の整理

正答率

29.3%



NotebookLM

大問5：「読むこと」（説明文）

【出題の趣旨】

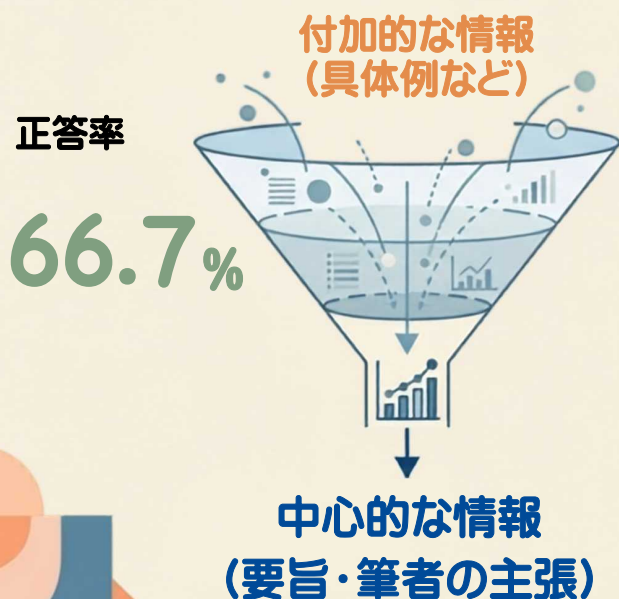
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について情報を整理し、
叙述を基に捉えることができるかどうか（小問1）
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうか（小問2）
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうか（小問3）
- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうか（小問4）



NotebookLM

大問 5

成果



課題

要旨を把握する

正答率 18.0 %

根拠を明確にして考える

正答率 11.6 %

学習の見通し・振り返りについて

【見通し】のポイント

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、生徒が理解することが大切です。

※ めあてを提示し、問題解決への意欲を高めよう。

【振り返り】のポイント

※ 授業(単元)の終わりには、めあてに対応した振り返りの時間を確保しよう。

【振り返り】の意義

- 教師が指導の改善を図るため。
- 生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするため。

【振り返り】の項目(例)

- 学習で意識したこと。
- 身に付いた力やできるようになったこと。
- 課題を解決するために試行錯誤したこと。
- 前時までに学習したことで、本時の学習に役立ったこと。
- 頑張ったけれど、十分ではなかったこと。
- 学習したことで、今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。
- さらに学びたいこと。

学力向上のための授業改善

目指す子供の姿

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、**他者と伝え合うことを通して**、自分の思いや考えを**明確にしたり、深めたり**して、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、生徒一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定
 - ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用して**生徒一人一人のつまづきを捉え**、螺旋的・反復的に繰り返しながら、資質・能力の定着を図る。
 - ◇国語科で育成した資質・能力を他教科等の学習に生かすことができるように、**教科等横断的な学習の充実**を図る。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等を通し、**他者と協働して、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、ICTを効果的に活用するなどし、主体的に学習を進める過程を設定する。**
 - ◇語彙の量と質の充実を図るために、**読書活動の推進や実生活に関連した言語活動**を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開
- ◇情報を取り出して整理し、その関係を捉えることで、話や文章を正確に理解したり、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることで、適切に表現したり発信したりする学習活動を設定する。
 - ◇前学年や小学校での**既習事項を活用する場面**を設定する。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

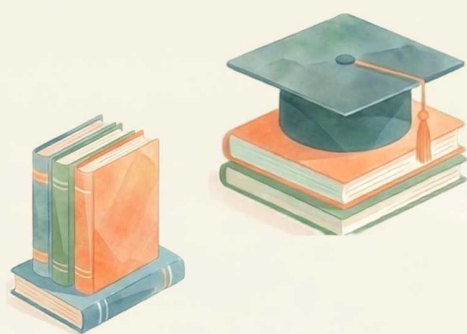
目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

③身に付けた資質・能力や学習内容をICT活用等により自覚化を図る指導の充実

- ◇ **多様な学習の記録**（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫をする。
- ◇ **書くことによる振り返り**をしたり、**ICTの利用**等により考えを共有したりすることで、学びを深めさせる。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

NotebookLM



おわりに



授業改善と学力向上に取り組んでいきましょう！

NotebookLM